

中村区日比津学区 震災避難行動マップ

この震災避難行動マップは、大規模地震が発生した場合を想定して、日比津学区のみなさんが、お住まいの地域の危険箇所や避難経路などについて話し合い、作成したものです。

この震災避難行動マップをもとに、「いざ」という時どんな行動をとればよいのか日頃から考えておきましょう。

避難所一覧

- (1) 日比津小学校
- (2) 日比津中学校
- (3) 名城大学附属高校
- (4) 日比津コミュニティセンター
- (5) 筥瀬中学校

地域防災協力事業所一覧

- (1) 新生テクノス新富町ビル
(一時的避難場所を提供・資器材の提供)
- (2) ブリヂストンタイヤサービス名古屋西店 (資器材の提供)
- (3) 末吉モータース (資器材を提供)
- (4) フレンズハウス和楽家
(要援護者の受入・炊事場を提供)
- (5) 小出モータース (資器材を提供)

災害応急用井戸

南部商会 (生活用水の提供)

気をつけて!!

1. 空き家
耐震性が低いと倒壊しやすく、無人のため火災延焼の危険あり
2. 古いブロック塀
大きな地震では倒壊する危険があるため近づかない
3. 狹い道
近くの家が倒壊したとき、道がふさがれて通りにくくなる可能性あり
4. 電線
切れた電線は停電時でも感電の危険があるので、絶対に近づかない

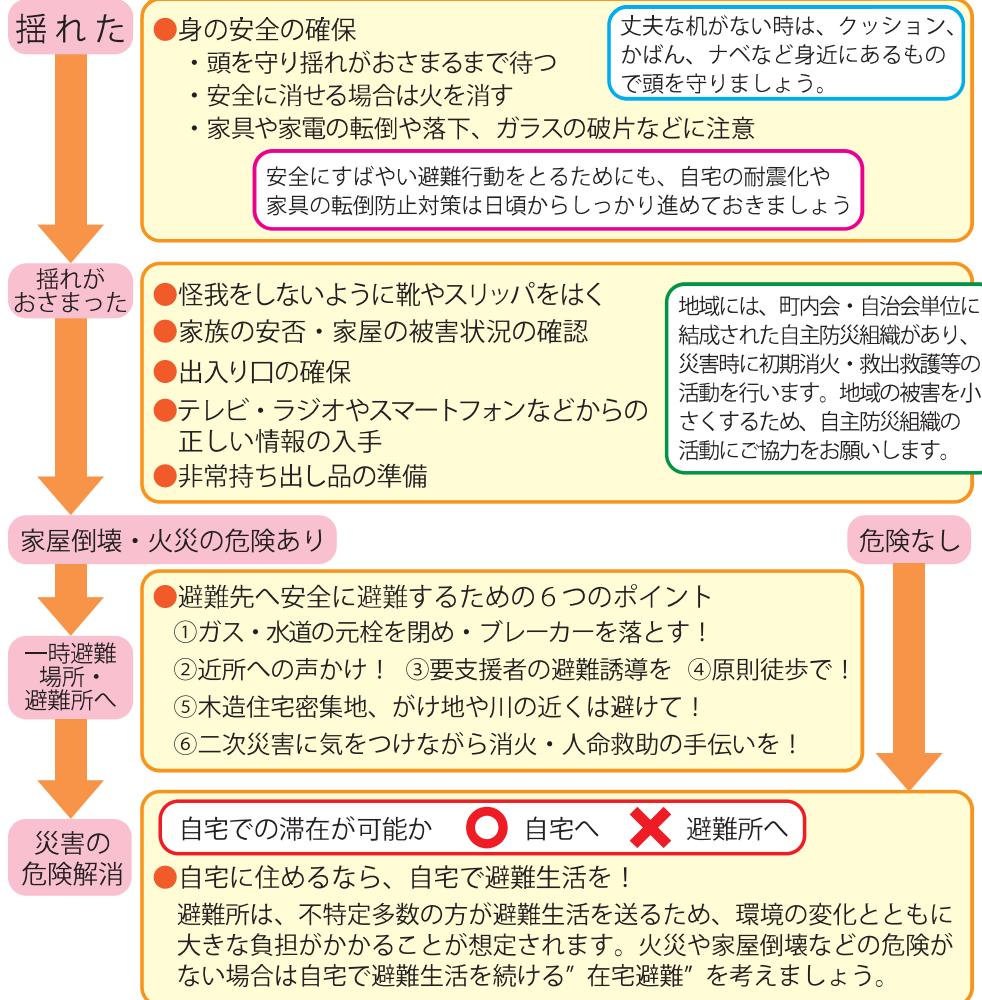


中村区日比津学区 災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、名古屋市の中でも比較的強い震度6強の揺れが想定されます。まずは身を守りましょう。このときに怪我をしないよう、日頃から家具の転倒防止などの耐震対策に努めましょう。また、古い木造家屋が密集している箇所では火災によって倒壊する建物が道を塞ぎ、強い熱風が吹き荒れます。

さらに液状化現象が起きる可能性も高くなっています。建物が傾いたり、路上に泥水が溢れ出し、通ることができなくなります。これらを踏まえ、適切な避難先と、そこまで安全にたどり着くための経路をあらかじめ考えておきましょう。

地震発生！ 災害時の対応



一人では逃げるのが難しい方への対応

過去の災害では、周囲からの「声かけ」と「避難の手伝い」が、下記のような高齢者や障がいのある方などの避難行動を早めました。日頃から一人で逃げるのが難しい方を把握し、地域みんなで、いち早く避難行動が取れるよう協力しましょう。

情報の入手や判断が難しい方

(例えばこんな方)

目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障がいのある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など

(対応方法)



優しい言葉で
ゆっくり声かけ



メモや、身振り
手振りで伝える

移動が難しい方

(例えばこんな方)

普段、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦さんなど

(対応方法)



複数で手伝う 身近にあるものを利用する

避難の時の豆知識

非常持ち出し袋を準備しましょう！

水や食料等を用意しておきましょう

7日分

程度用意しましょう。

□保存がきく食品（自分が食べやすいもの）

□常備薬（持病の薬を含む）

□飲料水（ペットボトル）

1人1日3リットルが目安です。また、水分の多い食品（ゼリーなど）と組み合わせることで量を減らすことができます。

内3日分 程度は
非常持出品へ。

避難する時に持っていくもの

防災用品

- 携帯ラジオ
- ヘルメット・防災ずきん
- 軍手

貴重品

- 現金（小銭も必要）
- 預（貯）金通帳の写し
- 健康保険証・免許証の写し
- カード類

照明灯

- 懐中電灯（電池含む）
- マッチ・ライター

医療用品

- 三角さん
- ぱんそうこう
- 消毒薬
- ウェットティッシュ（ティッシュ）
- お薬手帳の写し

食器類

- はし・スプーン
- 紙皿・紙コップ

衣料品

- 衣類（着替え）
- タオル（大小2種類）

便利用品

- 筆記用具
- 新聞紙
- 携帯用トイレ
- ゴミ袋
- キッチン用ラップ
- 使い捨てカイロ
- 雨具
- 手動携帯電話充電器